

府省名	調査主体	令和7年度予算額	令和8年度予算案	増▲減額	反映額
文部科学省	本省調査	19,044の内数	19,071の内数	27の内数	—

事案の概要

我が国のアスリート支援事業として、日本スポーツ振興センター（JSC）が大会成績等の配分基準に基づき日本オリンピック委員会（以下「JOC」という。）に助成金を交付しており、JOCは助成金を中央競技団体（以下「NF」という。）に配分している。アスリートの減少も想定される中、主要国際競技大会におけるメダル獲得数等を維持、拡大させるためには、NFの質の高い活動や自立的な運営が求められる。

調査結果の概要及び今後の改善点・検討の方向性

1. 質の高い選手強化活動について

- NFの選手強化費の全体像とパリオリンピックにおける助成金投入の成果の調査結果から、より少ない助成金投入額でより大きな成果を出しているNFもあることを踏まえて、**助成金の配分にあたっては、従来のメダル獲得数等での評価に加え、費用対効果等の「質」に着目した評価軸も加えることで、NFが行う選手強化活動の質の向上を促すべき。**
- 選手強化費のうち競技力向上事業の執行状況の調査結果から、**毎年特定のNFに不用が生じている状況は、助成金のNFへの配分の最適化を妨げる要因となるほか、不要な予算計上にもつながる可能性があるため、個別に要因を特定し、対策を講じるべき。**

2. NFの組織基盤強化の取組状況について

- 調査結果から、収入の半分程度を助成金・補助金が占めているパラ団体における多様な自己収入の確保という課題があり、その課題解決には**知名度や人的リソース不足などの組織基盤の弱さというボトルネック**が存在することを踏まえれば、国費により実施されている組織基盤強化支援事業については、**支援対象を特に組織基盤が弱いパラ団体等に限定した上で、KPI達成状況を丁寧に把握、検証し、PDCAによる事業の最大化を図るべき。**

反映の内容等

1. 質の高い選手強化活動について

- **助成金の配分にあたり、評価項目である各NFの「戦略強化プラン」の実効性の確認において、新たに「予算」の観点の評価項目を加え、その中で事業費、助成金等の収入、執行実績及び大会の成績を踏まえた費用対効果に係る自己分析等を実施させ、その報告内容に対する評価を助成金の配分に反映させることとした。**
 なお、評価項目全体を通じ、**NFの競技力強化活動の観点においても「質」に着目した評価軸（NFの強化戦略・戦術への結び付き、改善プロセス、目標へのリーチ方法等）を加え、今後、費用対効果・競技力強化活動の両面から本事業の「質」の向上を図ることとする。**
- **不用が生じている特定のNFにつき、不用が生じる個別の理由を特定・分析かつ解消するように指示した。今後、助成金配分の過程において個別に課題の解消状況を確認し、助成金配分の最適化を図ることとする。**

2. NFの組織基盤強化の取組状況について

- **現在国費支援を行っているNFに対しては、「財政・人材・業務改善・KPI達成」等の状況報告を求めることとし、スポーツ庁においても丁寧に分析等を行い、本事業の目的である各NFの自走化に向けた支援を行う。**
- **今後の国費支援対象は、組織基盤が特に脆弱なパラNF等に限定するとともに、国（スポーツ庁）直轄事業として、事業計画策定時から定量的・定性的なKPI設定をフォローするなど、PDCA可能な体制構築を行う。**